

自然と文化科

箕面公開観察会

活動記録

日時	2019 年 11 月 25 日(月) 9:30～14:50 天候：曇り	担 当 者
場所	箕面公園：箕面駅～聖天展望台～箕面山荘～才が原池(昼食)～地獄谷～ 瀧安寺	文：渡辺 文子 写真：渡辺 文子
備考	本科講座生対象の公開観察会 全体リーダー 長尾雅人 大釈金吾 今回は高等科生も参加 (高等科引率 児玉勝久・肥塚眞) 各班リーダー 講座生(20名) 高等科生(10名) オブザーバー 1 班 池上千代枝・池田清 5 名 3 名 木村良一 2 班 内田きみ子・橋本英利 6 名 2 名 3 班 張間寛一・竹山秀規 4 名 2 名 4 班 遊上眞一・中川一成 5 名 3 名	

- ・ 当日朝の天気予報では、降水確率が午前 50%・午後 30%だったが聖天展望台手前で少しぱらっと来た程度で、午後には一瞬だが薄日もさして、まずまずの観察日和だった。
- ・ 講座生は当初 22 名参加予定だったが、2 名欠席で 20 名の参加。今回は初めて高等科生も参加、各班に 2～3 人ずつ分かれて観察した。
- ・ 9 時 30 分、大釈代表の挨拶の後、全体リーダーの長尾専任幹事より諸注意。すぐに出発する班もあり、駅前広場で「カエデ類」について説明する班もあり、それぞれの思いを生かして観察を開始する。花や果実はあまりなかったが、紅葉が美しく、箕面の植生のすばらしさに触れていただくよいきっかけになったと思う。
- ・ 聖天台展望台着は 10 時 50 分～11 時 5 分と 30 分程度遅れ気味だったが、才が原には 12 時 5 分～15 分には到着。ほぼ時間通りの到着となった。地獄谷の下りでは足元の危ない方もいらっしやったが、14:35 分にはすべての班が龍安寺に到着。境内の樹木の説明の後、アンケートに記入していただいて、14 時 50 分に解散した。



箕面公開観察会アンケート集計結果（講座生20人高等科生10人、合計30人）

自然と文化科

- ① 参加回数 初めて：16人、2回目：12人、3回目：2人、
- ② 満足度 〈全員〉非常によかった：20人、良かった：10人、普通：0人、良くなかった：0人
〈複数回参加者〉非常に良かった：9人、よかった：5人
〈複数回参加者〉複数回参加して良かったか？良かった：14人、あまり思わない：0人
- ③ リーダーの案内、説明についての感想
適当である：26人、もっと詳しく説明して欲しい：1人、もっと簡単でよい：0人
回答なし、忘れ？：3人

【良かった点】

- ・パンフレットや写真での説明もよかった。2
- ・内容もさることながら、声にメリハリがあり非常によく聞き入った。
- ・楽しかった
- ・名前だけでなく、由来、手の感触、食べられる実など様々な視点がよかった。
- ・少人数でしっかり聞くことができた。

【課題の点】

- ・早くて専門的なので追いつくのが間に合わない、びっくりした。5
- ・花の写真等の説明でなくて、現実の説明の方が良いのでは？
- ・間違いが多いのでは？

④ 観察コースについての感想

良かった：25人、普通：5人、良くなかった：0人

- ・よい季節（紅葉）に歩いてよかった。観察と風景を楽しめた。2
- ・健脚向き？ちょっと長いかな。2
- ・疲れましたが楽しかった。
- ・坂道の少ない方がよい。
- ・天気によって、コースを考えられているのを知りました。

⑤ 一番印象に残ったことは？

〈感覚的な面、季節感？〉

- ・紅葉（赤や黄色）の素晴らしさ 8
- ・個体差についてのこと 4
- ・樹木の種類の豊かさ
- ・植物の生命力
- ・植物に少しずつなじんできたこと
- ・すでにツバキが咲いていた
- ・コバノミツバツツジが咲いていたこと、

〈案内の工夫から〉

- ・興味を起こさせるような説明。
- ・樹名の由来
- ・実を食べさせて頂けたこと
- ・種別分類で、名前を覚えること

〈知識的な面〉

- ・紅葉の種類がわかった 2
- ・アベマキ、クヌギ、クリの葉の見分け方 3
- ・グー、チョキ、パーの葉

- ・リンボク
- ・アカジデのコンクリート
- ・ウラジロガシのどんぐりの殻斗
- ・ビワの花
- ・マメツタと環境のこと 2
- ・万両、千両、一両

⑥意見・感想

- ・天気と紅葉がよく楽しかった、感動。4
- ・大変大変興味深く楽しかった。
- ・春の若葉のころも参加し、季節ごとの味わい、楽しさを感じた。
- ・箕面の山は、暖地と冷涼地の木が混在し面白かった。
- ・樹木の特性の説明は、非常に興味を引き、初冬の観察活動のおもしろさを教えて頂いた。
- ・同じ植物を重複して説明して頂いたので理解を深めるのに役立ち、ありがたかった。
- ・時忘れや身近な植物の名前を知ることができた。2
- ・町から近いこんな植生の豊かさがあるとは、大事にしたい。
- ・また参加したい。
- ・何回参加したら、どれだけ身につくでしょうか？
- ・今後の勉強の仕方を教えて頂いた。
- ・わかりやすい親切、ていねいな説明とゆっくりペースがよかった。3
- ・リーダーの方の知識にびっくり、勉強させて頂きました。2
- ・スタッフの熱心さと知識に感心。
- ・季節、時間、人員配置など工夫されていた。
- ・これまでは、スマホで撮影していたが、今回は筆記のみなので、レビューが難しい。
- ・一つ一つをもう少し詳しく聞ければよかったかも。

結果は以上です。

アンケートをまとめてみて

- ① 複数回来られている方々は、全員、よかったと答えている。全体でも今回は、非常に良かったという人の割合が、一番今年3回中で高かった。
- ② 感覚的に楽しめたという面と知識面等で身につく両面の大切さが観察会では必要と感じた。
- ③ 参加者のレベルが違う点はあるが、詳しくすぎてついていけないという意見も多人数あり、ゆったりと参加者の表情を見ながら、関心・興味のあるところを勘案して案内していくことが肝要。
- ④ 表情豊かに、メリハリつけての案内術を身に付けたい。

スタッフミーティング等から

※ 今後の課題

- ① 高等科参加の場合は、講座生とのレベル差もあることから、班編成を違う班にしたい。
- ② 自然と文化科の特徴のある観察会を持ちたい。
- ③ 自分の知っていることを話したい参加者には、説明する機会を持たせるといい。
- ④ 説明する木を一人一つずつ参加者に任せる方法もいい。

※ エノキとエドヒガンの違いに気をつけて。